



マアジ（対馬暖流系群）

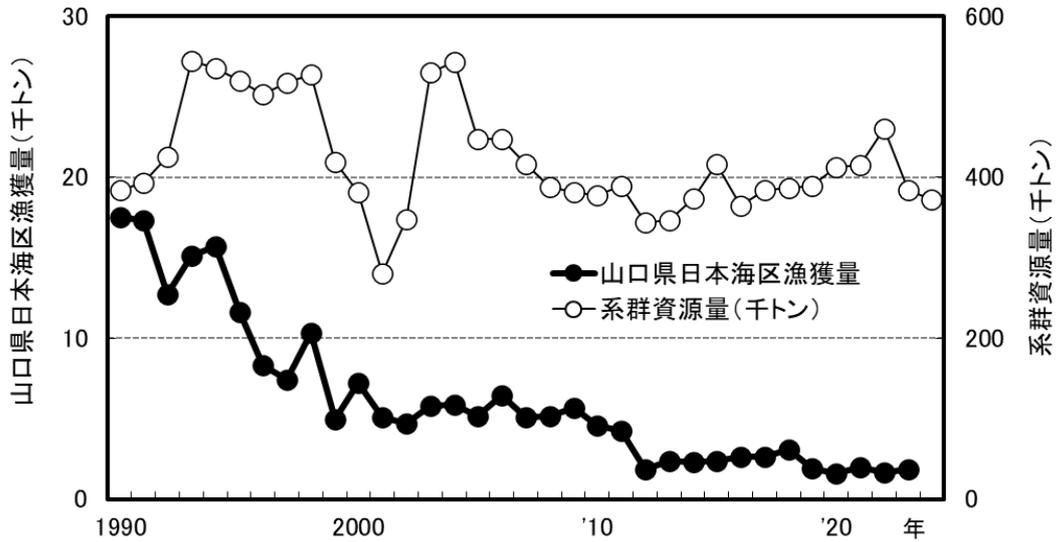


図 山口県日本海区マアジ漁獲量（漁業・養殖業生産統計年報）及び対馬暖流系群マアジ資源量（(国研)水産研究・教育機構 資源評価報告書）の推移

【漁業】マアジは主にまき網で漁獲される。主漁期は5～7月で主にゼンゴ（1歳魚）が漁獲される。

【漁獲量】山口県日本海区の漁獲量は、1990年には17,538トンであったが、その後大きく減少し、2012年以降は3,200トン以下と低位で推移している。2023年の漁獲量は1,860トンであった。

【資源状態】資源量は1993～1998年には50万～54万トンを維持していたが、その後は減少に転じ、2001年には28万トンまで減少した。2002年以降は増加し、2004年には54万トンとなったが、2005年以降は40万トン前後で推移し、2024年には37.2万トンであった。

2024年の親魚量は最大持続生産量（MSY）を実現する親魚量（SB<sub>msy</sub>：目標管理基準値）を下回った。また、2024年の漁獲圧はMSYを実現する漁獲圧（F<sub>msy</sub>）を下回った。親魚量の動向は横ばいと判断された。

2024年漁獲量 (万トン)	MSY (万トン)	2024年親魚量 (万トン)	目標管理基準値 (万トン)	限界管理基準値 (万トン)	禁漁水準 (万トン)
10.8	18.7	18.7	27.3	10.3	1.4